

第89号

令和4年3月
発行

ボランティア・協働情報紙 ～まなびとボランティアをサポートする～

まなぼら



Contents

特集

はじめてみませんか～誰かのために 自分のために～

元気人

向島さくら食堂 大田 恵美 さん

防府市生涯学習課のイチオシ

- 『「家庭の日」親子ふれあいイベント』を紹介します！
- 報告♪ほうふ幸せます人材バンク

防府市社会福祉協議会のイチオシ

- 地域の輪が広がっています！～活動報告～
- ボランティアコーナー

防府市市民活動支援センターのイチオシ

- センター登録団体と高校生がコラボ！防府商工高校『総合実践』

はじめてみませんか ～誰かのために 自分のために～

みなさんは、ボランティア活動に取り組んでいますか。まなぼら編集部の3機関（防府市生涯学習課、防府市社会福祉協議会、防府市市民活動支援センター）では、ボランティア活動に関する相談対応や情報提供、ボランティアの養成などを行っています。今回は、3機関の機能を使いながらボランティア活動に取り組んでおられる方にインタビューを行ってみました。これから活動をはじめたいという方にとってのヒントとなれば幸いです。

ボランティアとは

ボランティアの語源は、voluntas（意志）というラテン語です。ボランティアをはじめるときは人それぞれですが、ボランティアは、自分の関心のあるテーマや自分にできることから始められるとても身近な活動です。ボランティア活動は、地域や社会をよりよくしていくことにつながるとともに、自分自身も豊かにしてくれます。

自主性

ボランティア活動は、自分の意志で参加したり、取組んだりするものであり、誰かに強制されたり、義務で行ったりするものではありません。

社会性

ボランティア活動を通して、さまざまな体験をしたり、知識や技術を学んだりすることができます。また、人とのつながりをつくることもできます。

先駆性

ボランティア活動は、自由な意志で取組むものなので、すでにある仕組や発想にとらわれず、何が必要なかを考えて実施することができます。

市民活動ボランティアマッチング登録者 村上 萌々 さんにインタビュー！



大学で専攻している分野の知識や特技を活かして誰かの役に立つ活動をしたいと思い、市民活動支援センターのボランティアマッチングに登録しました。

市民活動支援センターに情報発信などの相談をされていた『松崎地域まちづくり推進協議会』とつながり、ホームページを制作することになりました。「IT 関係に詳しい会員がいないのでとても助かる」と感謝されました。

また、イラストを描くのが好きなので、協議会会員団体である『まつぼっくりの会』のマスコットキャラクターを制作しました。自分が描いたイラストが、団体の広報物に使われて嬉しかったです。



市民活動支援センターでは、活動に参加してほしいと考えている団体などの情報をニーズ登録として受け付けるとともに、ボランティアに参加したいと考えている市民を登録し、双方に情報提供を行い、活動と人をつなぐ市民活動ボランティアマッチングを行っています。

指導者バンク登録団体

『古典芸能南京玉すだれ山口保存会』代表

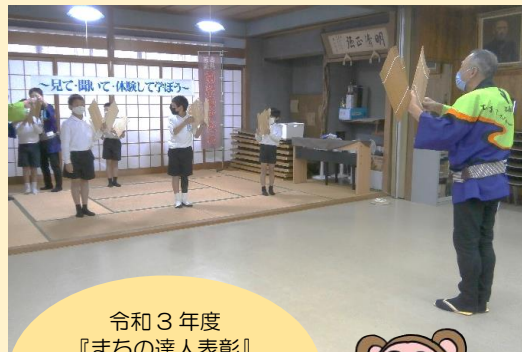
勝間 幸次 さんにインタビュー！

平成 20 年に『古典芸能南京玉すだれ山口保存会』を結成しました。徐々に会員数も増え、みんなの腕も上がってきた平成 23 年に、講習会場にしていた文化福祉会館で、『指導者バンク』のことで知り、登録をしました。

活動依頼は、学校や地域のふれあい・いきいきサロン、放課後子ども教室などが多いです。今年度は小学校のクラブ活動に 5 回連続で指導に行き、児童にも先生にも喜んでもらえ、嬉しく思いました。人前で演技を披露することは稽古の励みになり、みなさんに楽しんでもらえることに、やりがいを感じます。

『指導者バンク』の良い所は、登録者名簿が広く配布されるので、PR になり活動の幅が広がることです。

今年度は、新型コロナの影響で中止になることも多く残念でしたが、今後も日本の古典芸能である『南京玉すだれ』を広めていきたいと思います。



令和 3 年度
『まちの達人表彰』
受賞団体です！
詳しくは 4P を
ご覧ください。



生涯学習課には、専門的な知識や生活に密着した知識・技術をお持ちの方がボランティア講師として登録されている「指導者バンク」と、授業の補助や読み聞かせなどさまざまな学校支援をしたい方が登録されている「支援者バンク」の 2 つのボランティアバンク制度（『ほうふ幸せます人材バンク』）があります。登録してくださる方を常時募集中です。

個人ボランティア

岡本 美代子 さんにインタビュー！



体調を崩して仕事を辞めた後、何もしない時間が多くありました。でも、何か人の役に立てることがないかなと思い、何気なく社会福祉協議会を訪ねました。どのような活動をしたいかもわからないまま相談に行きましたが、しっかりと話を聴いていただき、ボランティア活動の心得を教えてくださいました。そして、いくつか提案していただいた活動の中から、最近よく耳にする“子ども食堂”のボランティアに参加することにしました。

初めてのボランティア活動で不安でしたが、子ども食堂を運営されている方々の前向きな姿勢や優しさ、気配りにふれて嬉しく思いました。また、一緒に参加したボランティアさんたちが和気あいあい、私も楽しく活動できました。お友達もできて、次もぜひ参加したいなと思っています。

その後、社会福祉協議会から「ボランティア活動はいかがでしたか？何か困ったことはありませんか？」と連絡をいただき、気にかけてくださいました。これからもよろしくお願いします。



市社会福祉協議会では、現在募集しているボランティア情報の提供、ボランティアに関する講座（入門・手話・音訳など）の開催、ボランティア同士の交流の場づくり（ボランティアコーナーの設置）などを行っています。また、その人に合ったボランティア活動を担当者が一緒に探し、安心して取り組むことができるよう支援しています。

ボランティア入門講座～見つけよう！自分にあったボランティア～

日 時：3月24日（木）13：30～15：00

場 所：市文化福祉会館 3 階 9 号・4 号

内 容：①講義 【講師】防府市市民活動支援センター 平井 佐和子

②ボランティア交流会 実際にボランティア活動をされている方と交流しよう

申込み：3月17日（木）までに市社会福祉協議会へ（7P 参照）

ボランティアの
基礎について
学んでみませんか



大田 恵美 さん

Emi Ota

向島さくら食堂

Q 向島地区でさまざまな活動を行っておられますが、活動を始めるきっかけは何でしたか？

10 年前に携わった PTA 活動が最初です。それから主任児童委員（民生委員・児童委員）、青少年育成連絡協議会、地区社会福祉協議会などのさまざまな行事や活動に参加するようになり、徐々に向島地区の実態が見えるようになりました。

当初は、子どものことを中心に活動していましたが、地域活動を通じて高齢者の問題を身近に感じるようになりました。そこで「世代を超えて、みんなが笑いあえる場所はないかな」そう思った思いから向島さくら食堂を立ち上げました。

Q 向島さくら食堂は、どのような活動ですか？

向島さくら食堂は、地域の憩いの場として、ちょっとした雑談やゆるやかな見守りができる場所をつくりたいと思い、昨年 4 月に立ち上げました。

地域活動を始める前、私は家族以外とは関わる機会があまりありませんでした。地域の方々と関わるようになり、そこでともに笑い合い、楽しく、悩みや困りごとを解決してくださることも多くありました。これらを多くの方々と共有したいと思い、気軽に来られて直接話のできる食堂を目指して開催しています。

現在は、新型コロナウイルス感染症の対策をしながら、フードパントリー形式（食品の無料配布）で行っています。地域の方々から、「いつも楽しみにしています」という声を聞くと本当によかったなと思います。また、同じ思いの、多くの人の支えがあってこそ開催できるので、ありがたいです。

Q 地域に対してどのような思いがありますか？

いざという時のため、何かの時に助け合えるつながりをもっていたいと考えます。

こんな時代だからこそ、人とのつながりは大切なものだと思っています。小さなつながりからでも支え合ってお互いにサポートしていける事ができるように、少しでも力になりたいです。

そして、笑いの絶えない向島になればいいなと思っています。

Q 元気の秘訣はなんでしょう？

笑うことです。地域の人といつも笑っています。元気な向島の方がたくさんおられるので、いろいろな課題にも前向きに取り組めます。

これからも、向島に住む方にとって向島が住みよい場所になるように、できることを無理のない範囲で続けていきたいです。

防府市生涯学習課



『「家庭の日」親子ふれあいイベント』を紹介します！

『「家庭の日」親子ふれあいイベント』とは？

山口短期大学のプロジェクトチーム『ちやすむんき〜』の学生によって企画・運営が行われるイベントです。第3日曜日『家庭の日』に市文化福祉会館などで開催し、訪れた親子が楽しい時間を過ごせるよう、毎回さまざまな企画を実施しています。



イベントではどんな企画があるの？

ふく笑いやぶんぶんゴマなどの伝統的な遊びをはじめ、季節を感じるができるお楽しみ工作など、家族と一緒に楽しみ、盛り上がるができる企画を実施しています。

今年度の活動は？

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、7月からの活動となり、市文化福祉会館において、『海の生き物をつくってあそぼう』、『うちわにすてきな模様を描こう』という季節感ある工作の新企画を実施しました。家族ごとに距離を取るなど、感染防止対策の中での開催でしたが、久しぶりの親子ふれあいイベントをみんな楽しんでいました。



報告♪ ほうふ幸せます人材バンク

『まちの達人表彰』

まちの達人表彰とは、『指導者バンク』のボランティア講師として、地域や学校などにおいて、市民の生涯学習活動に、ご支援、ご活躍をいただいた方を表彰するものです。

この表彰は、「ほうふし」にちなんで、活動回数ごとに「ほほえみ賞」、「うるおい賞」、「ふれあい賞」、「しあわせ賞」という4つの賞を設けています。

今年度の受賞者の方々や団体をご紹介します。

【ほほえみ賞 活動回数 10 回以上】

- ① 山田 まゆみ さん（社会分野）
- ② 防府市スポーツ推進委員連絡協議会（スポーツ・レクリエーション分野）

【うるおい賞 活動回数 30 回以上】

- ① 小川 博敏 さん（趣味分野）

【ふれあい賞 活動回数 50 回以上】

- ① 岡本 興道 さん（自然科学、教育分野）
- ② さざなみ 21（舞踊・演劇分野）
- ③ 古典芸能南京玉すだれ山口保存会（洋楽・邦楽分野）

2月27日の
『生涯学習フェスティバル』
で表彰式がありました。



▲表彰式の様子



地域の輪が広がっています! ～活動報告～

令和3年12月23日(木)、障害者就労支援事業所『夢かれん』が主体となって、大道地区の国道沿いの清掃活動を行いました。これは、大道地区の住民として「地域のためにできることはないか?」との思いから、自発的に行われたものです。

活動には、夢かれんに加え、大道地区社会福祉協議会、山口短期大学、大道公民館、市道路課から、総勢50名余が参加し、ゴミ拾いや草刈りを行いました。一つ一つ丁寧にゴミを拾い、150袋ものゴミが集まりました。参加者からは、「思ったよりゴミがあった」「まちがキレイになるので嬉しい」「これからも住みよいまちづくりのために活動したい」との感想を聞くことができました。

昨年度の清掃活動は、夢かれんの職員と利用者だけの活動でしたが、今年度は、大道地区のみなさんと活動することができました。この輪が広がったきっかけは、昨年の山口短期大学の学生を対象としたフードパントリー活動です。コロナ禍で、仕送りやアルバイト収入が減少し、生活が厳しくなった学生に対して食料品などを配布するというものでした。この時は、大道地区社会福祉協議会が中心となり、夢かれんが育てた玉ねぎやカボチャ、地元の農家さんからいただいたお米やジャガイモ、赤い羽根共同募金の助成を受けて地元のスーパーから調達した食料品や日用品が提供されました。

このように、一つの活動を通してできたつながりから、地域の輪が広がり、地域が一体となった取組が行われています。



清掃活動の様子



参加した学生



フードパントリーの様子

ボランティアコーナー

ボランティアコーナーでは、ボランティアアドバイザーによる、ボランティアに関する相談や情報提供を行っています! 開催日は、下表をご覧ください。どうぞお気軽にお越しください!

が開催日です。

3月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

4月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

5月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				



★イベント情報

ゴールドの寅の置物をつくってみませんか?

【時 間】各日 13:00～16:00

【場 所】ボランティアコーナー (市文化福祉会館 2階 16号)

【参加費】無料 【対 象】小学生以上 【定 員】各日 5名 ※先着順 ※要申込み

防府市市民活動支援センター



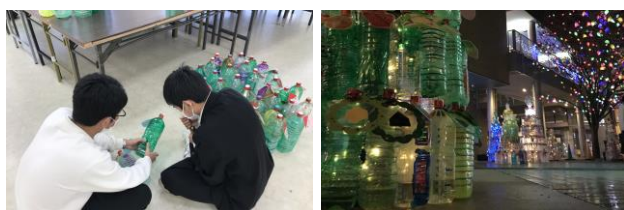
センター登録団体と高校生がコラボ！

防府商工高校『総合実践』

防府商工高校の生徒のみなさんが『総合実践』という授業の一環で、市民活動支援センター登録団体の活動に参加しました。日頃はなかなかできない体験を通して学びを得ながら、高校生ならではの視点で考えたり行動したりして団体と関わり、地域貢献につながる活動を行いました。

キャンドルナイト実行委員会

『キャンドルナイト実行委員会』の活動に参加した生徒のみなさんは、まちのにぎわいを創出するために、クリスマスの時期にルルサス防府にイルミネーションを設置しました。市内の園児にペットボトルに絵を描いてもらい、そのペットボトルを中学生と一緒にツリー状に組み立てて点灯しました。自分が描いたペットボトルを見つけた親子の笑顔が印象的だったそうです。この活動を通して、イベントの計画の大切さや関係者とのまめな報告・連絡・相談の必要性などを学びました。また、高校生が何かに挑戦しようとしたとき、多くの人が協力してくれるあたたかいまちだということに気付くことができました。



幸せ着物着せ隊

『幸せ着物着せ隊』の活動に参加した生徒のみなさんは、若年層の和装離れを食い止めるために、最初のステップとして自分たちが着物の理解を深めることと自分で着物を着ることができるようになることを目標に活動しました。そして、若者に着物の魅力を発信するために、ファッションショーを開催しました。コンセプトは“大正ロマン”。着物をリメイクしたり洋装と合わせたりと、ちょっとした工夫で注目を集め多くの人にアピールすることができました。着物を通して文化を学ぶことができ、また、初めてのイベント運営を楽しむことができたそうです。



特定非営利活動法人市民活動さぽーとねっと

『特定非営利活動法人市民活動さぽーとねっと』の活動に参加した生徒のみなさんは、一般ボランティアの方々と一緒に、市内のフードバンクポストに寄付された食品の管理を行いました。商品名、総重量、賞味期限・消費期限を記入し、期限が切れてないかを確認するといった作業を通して、食べ物の大切さはもちろん、社会課題の解決に取り組む市民活動団体の存在の重要性を強く感じたそうです。地域に貢献することの大切さや大変さ、楽しさを活動の体験を通して学ぶことができたので、これからも防府市で暮らしていく市民として、地域に貢献できる活動に積極的に参加したいと感じたそうです。



防府市観光ボランティアガイドの会

『防府市観光ボランティアガイドの会』の活動に参加した生徒のみなさんは、防府市の魅力（市内に点在する建造物とその歴史的背景）を多くの市民に理解してもらうことを目的に活動を行いました。まずは『桑山』や『車塚古墳』の歴史について学び、それが持つ物語のおもしろさを知ると同時にガイドのやり方を学びました。2月には、実際にガイドを行いました。“知っている”ことと“わかりやすく伝える”ことは大きく離れていることを実感したそうです。また、案内する時の歩く速さ、天候によって変わる地面の状態に気を配ること、説明に対するお客様の反応を観察しニーズを汲み取ることの大切さについても学ぶことができたそうです。



information

時 間 場 所 内 容 対 象 人 定 員 ￥ 参加費 持 持参物 申 申込み 問 問合せ

3/13 (日) ボランティア交流会

時 13:30~15:30
場 市地域協働支援センター
内 団体同士の活動紹介と座談会
 「こんな活動やってみたい!」と紹介して
 くださる団体さんを3~4団体募集してい
 ます!
対 市市民活動支援センター登録団体、ボラン
 ティアに興味のある方など
申 市市民活動支援センター

3/19 (土) 若者が取り組む地域の課題解決

時 16:00~18:00
場 オンライン (Zoom)
内 若者が地域の課題解決に取り組む必要性
 などについて事例をもとに考えます。
 ①話題提供(市市民活動支援センター 黒
 川 康生) ②事例紹介(やまぐち若者 MY
 PROJECT、アカデミーハウス) ③参加者
 同士の意見交換
人 20名 ￥ 無料
申 市市民活動支援センター

3/24 (木) ボランティア入門講座 ~見つけよう!自分にあったボランティア~

時 13:30~15:00
場 市文化福祉会館 3 階 9 号・4 号
内 ①講義
 講師:市市民活動支援センター 平井 佐和子 さん
 ②ボランティア交流会
 実際にボランティア活動をされている方と交流しよう
対 ボランティア活動に関心のある方
人 15名(先着順) ￥ 無料
申 3月17日(木)まで
問 市社会福祉協議会

4/13 (水) 音訳ボランティア講習会 4/27 (水) 全18回 令和5年3月まで月2回程度の開催

時 10:30~12:00
場 市文化福祉会館 3 階 9 号
内 音訳の方法についての講習
対 音訳ボランティア活動に関心のある方
人 15名(先着順)
申 4月6日(水)まで
問 市社会福祉協議会

令和4年度 ユネスコ英会話教室 こども英会話教室 毎週土曜日

時 A 低学年クラス 13:30~
 B 高学年クラス 14:30~
場 市文化福祉会館
内 英語に親しみ楽しむ
対 小学生 人 各 10 名
￥ 2,500 円/月
 ユネスコ会費(要入会)年会費親子で 3,500 円
申 防府ユネスコ協会事務局
問 TEL (0835) 26-6851 (月・木)

令和4年度 防府市子ども会 「ジュニアリーダーズクラブ」会員募集

内 野外活動、交歓会、研修会、ボランティア
 活動で、いろいろな学校のお友だちができ
 ます。
対 中学生・高校生
申 防府市子ども会育成連絡協議会事務局
問 TEL (0835) 26-6852 (月・水・金)

編 集 後 記

北京五輪が終わり、各国の選手から多くの感動をもらいました。同時に、この冬の祭典を影で支えたボランティアの存在を忘れたくないですね!北京五輪口スで心がベキンと折れそうです… (U)

『まなぼら』は、3機関が協働で編集している情報紙です。
 発行月は6月・9月・12月・3月です。

昨年末、新車を購入しました。仕事の通勤は、自転車ということで、車に乗る機会が休日しかないことが、もったいないところ。コロナが落ち着いて、いろんな場所に出かけたいと思います。(A)

今年度はランニングにハマった1年でした。11月の小野清流ロードレースではまなぼら編集部の人とAさんと大会会場で会いました。来年度は2人に食らいついていけるよう頑張ります! (H)

防府市教育委員会教育部生涯学習課 生涯学習相談コーナー

〒747-0026
 防府市緑町 1 丁目 9-2
 防府市文化福祉会館内 1 階 10 号
 (0835)23-3015
 (0835)38-8131
 shougai@city.hofu.yamaguchi.jp



防府市社会福祉協議会 (ボランティアセンター)

〒747-0026
 防府市緑町 1 丁目 9-2
 防府市文化福祉会館内 1 階 14 号
 (0835)22-3907
 (0835)25-1388
 fureai-net@hofushishakyo.jp



防府市市民活動支援センター

〒747-0035
 防府市栄町 1 丁目 5-1
 ルルス防府 2 階
 (0835)38-4422
 (0835)24-7733
 shimin@hofu-saport.org

